



ごあいさつ

平素より格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染症により影響を受けられた皆様に心からお見舞い申し上げます。

このたび、組合員並びにお取引先の皆様に当組合の経営内容をお伝えし、より一層のご理解を深めていただきたく本誌を作成いたしましたので、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

当組合は昭和27年に創立以来、堅実・健全経営に努め、地域の皆様から愛され親しまれ、信頼される金融機関を目指してまいりました。おかげさまで業容も健全性を確保し、今日の揺るぎない経営基盤を築きあげ、昨年12月に創立70周年を迎えることができました。これもひとえに皆様のご支援の賜ものと深く感謝いたしております。

2022年度の我が国経済を振り返りますと、引き続き新型コロナウイルス感染症の感染拡大が繰り返されるなか、ロシアによるウクライナ侵攻を発端とした世界的なエネルギー・食料価格の高騰や円安の影響で、私どものお客様である中小企業・小規模事業者の皆様におかれましては、厳しい経営環境が続きました。

このような状況を踏まえて、当組合といたしましては、平時から事業者の皆様と緊密な関係を築き、事業実態の把握に努め、事業性評価による融資の取組みや事業者の皆様との対話を通じた伴走型支援により資金繰り円滑化と経営支援に努めてまいりました。

今年度に入り、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類に引き下げられたことで、人流の回復による社会経済活動の正常化が進みつつありますが、長期化するウクライナ問題や世界的なインフレによる欧米諸国の金融政策の動向などの不安要素もあり、地域経済は先行き不透明な状況が続くと予想されます。

このような環境下ではありますが、当組合はアフターコロナを見据え、引き続き中小企業・小規模事業者の皆様や個人のお客様に寄り添い、金融の円滑化やコンサルティング機能の発揮を通じた支援に努めてまいり所存です。

当組合は“ちかくにいるから、チカラになれる。”をスローガンとし、“夢あるくらしのパートナー”をモットーに地域の皆様と共に発展し、地域になくてはならない明るく元気な信用組合を目指して役職員一同さらに努力を重ねてまいります。今後とも尚一層のご支援ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2023年7月

理 事 長 河 本 晋 一